

一般廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却]（令和 2 年 11 月）

対象期間：令和 2 年 11 月 1 日～令和 2 年 11 月 30 日

焼却した一般廃棄物の種類及び数量

種類		数量(単位)
一般廃棄物	紙・布類	528.33 (t/月)
	木・竹類	71.86 (t/月)
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	519.01 (t/月)
	厨芥類	143.73 (t/月)
	不燃物類	15.97 (t/月)
	その他	51.90 (t/月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実績状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵機流入ガス温度	排ガス中の一酸化炭素濃度
測定位置	燃焼ガス出口(炉頂)	バグフィルタ前ダクト	バグフィルタ出口ダクト
測定結果が得られた日	令和 2 年 12 月 1 日	令和 2 年 12 月 1 日	令和 2 年 12 月 1 日
測定結果	1号炉月平均 856 °C	1号炉月平均 190 °C	1号炉月平均 49 ppm
	2号炉月平均 866 °C	2号炉月平均 193 °C	2号炉月平均 60 ppm
	別紙参照	別紙参照	別紙参照

※上記のチャート紙は桂苑のみ開示

ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷却設備(ガス冷却装置)	排ガス処理設備(バグフィルタ)
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月4日 スートフロア 1・2号	平常運転中 バグフィルタの除じんはすべて機器によるエアージェットのみ。 ※タイマー約3分間で16列を一巡 ※差圧計により反応、ランダムに可動。一日に10~15回程度。
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月5日 スートフロア 1・2号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月6日 スートフロア 1・2号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月10日 スートフロア 1・2号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月11日 スートフロア 1・2号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月12日 スートフロア 1号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月13日 スートフロア 1号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月17日 スートフロア 1・2号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月18日 スートフロア 1・2号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月19日 スートフロア 1・2号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月20日 スートフロア 2号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月25日 スートフロア 1・2号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月26日 スートフロア 1・2号	
ばいじんの除去を行った日	令和2年11月27日 スートフロア 1・2号	

熱灼原料分析結果

	1ヶ月に1回以上	結果	1年に1回以上	結果
採取位置	1, 2号BF・GCT下	1.7 %	不燃物コンベア	%
採取した年月日	令和 2 年 11 月 10 日		令和 2 年 月 日	
測定結果が得られた日	令和 2 年 11 月 20 日		令和 2 年 月 日	

排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に一回以上
採取位置		バグフィルタ出口ダクト	煙道
採取した年月日		令和 2 年 月 日	令和 2 年 11 月 4 日
測定結果が得られた日		令和 2 年 月 日	令和 2 年 12 月 17 日
ダイオキシン類			1号 2.6 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N) 2号 1.2 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	1号	( m <sup>3</sup> /h )
		2号	( m <sup>3</sup> /h )
	ばいじん	1号	( g/m <sup>3</sup> n )
		2号	( g/m <sup>3</sup> n )
	塩化水素	1号	( mg/m <sup>3</sup> n )
		2号	( mg/m <sup>3</sup> n )
	窒素酸化物	1号	( cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> n )
		2号	( cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> n )



第 S2011117 号  
令和2年11月20日

# 試験成績書

ふくおか県央環境広域施設組合 様

株式会社 環境科学システム  
〒816-0901福岡県大野城市乙金東三丁目10番12号  
TEL (092)504-2869(代) FAX (092)504-2893  
代表取締役 島林 信広 印

依頼されました試料の試験結果は、以下のとおりです。

施設名	桂苑 ごみ焼却処理施設
試料名	フライアッシュ
採取年月日	令和2年11月10日
採取時間	5:00
採取箇所	1, 2号BF・GC
採取者	依頼者
試料提出日	令和2年11月10日
試験項目	試験結果
水分 (%)	---
大型不燃物 (%)	---
熱灼減量 (%)	1.7
【備考】	試験方法：昭和52年11月4日環整第95号に準じた。



## 濃度計量証明書

交付 2020年12月17日

ふくおか県央環境広域施設組合 様

特定計量証明事業認定 N-0100-01  
 特定濃度計量証明事業登録 福岡県第8号  
 株式会社 太平環境科学センター

福岡県福岡市博多区金の隈2丁目2番3  
 TEL (092)504-1220



計量管理者 近藤 雅計



試料名	排ガス	試料区分	排ガス
件名	ダイオキシン類調査分析業務委託		
採取施設/採取場所	桂苑ごみ焼却施設 1号炉 煙道		
施設所在地	福岡県嘉穂郡桂川町九朗丸275番地21		
施設の種別	廃棄物焼却炉		
試料採取日時	2020年11月4日 10:30 ~ 14:30		
排ガス中の酸素濃度	12.5 %	採取ガス量	2.755 m <sup>3</sup> (乾き)
試料採取者	田中 裕志 [所属]株式会社 太平環境科学センター		
(注) 収集及び持ち込み試料の場合、上記内容は依頼者の申し出により記入しました。			

2020年11月4日に受付しました貴依頼による  
 試料についての計量の結果を下記のとおり証明します。

計量の対象	計量の結果 [実測濃度] (ng/m <sup>3</sup> )	酸素濃度換算値 (ng/m <sup>3</sup> ) at O <sub>2</sub> =12%	毒性当量 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> ) at O <sub>2</sub> =12%
ポリ塩化ジベンゾフラン	75	79	1.1
ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン	280	300	1.3
ダイオキシン様ポリ塩化ビフェニル	7.9	8.3	0.17
ダイオキシン類 (合計)	360	390	2.6

試料採取方法並びに計量の方法

JIS K 0311-2008 「排ガス中のダイオキシン類の測定方法」

計量実施期間

2020年11月4日 ~

2020年12月17日

備考

- ・毒性当量は計量法第107条の対象外、毒性等価係数はWHO-TEF(2006)を使用
- ・毒性当量は、定量下限未満の値を0(ゼロ)として算出したものである
- ・各物質毎の計量結果及び定量下限値、検出下限値は付表に示す
- ・結果は各対象毎に数値処理したものである
- ・体積の単位(m<sup>3</sup>)は、標準状態(0°C、101.32kPa)を表す



## 濃度計量証明書

交付 2020年12月17日

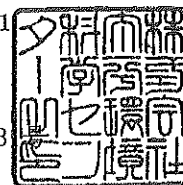
ふくおか県央環境広域施設組合 様

 特定計量証明事業認定 N-0100-01  
 特定濃度計量証明事業登録 福岡県第8号

株式会社 太平環境科学センター

福岡県福岡市博多区金の隈2丁目2番3

TEL (092)504-1220



計量管理者 近藤 雅計



試料名	排ガス	試料区分	排ガス
件名	ダイオキシン類調査分析業務委託		
採取施設/採取場所	桂苑ごみ焼却施設 2号炉 煙道		
施設所在地	福岡県嘉穂郡桂川町九朗丸275番地21		
施設の種類	廃棄物焼却炉		
試料採取日時	2020年11月4日 10:30 ~ 14:30		
排ガス中の酸素濃度	13.4%	採取ガス量	2.965 m <sup>3</sup> (乾き)
試料採取者	田中 裕志 [所属]株式会社 太平環境科学センター		
(注) 収集及び持ち込み試料の場合、上記内容は依頼者の申し出により記入しました。			

2020年11月4日に受付しました貴依頼による  
 試料についての計量の結果を下記のとおり証明します。

計量の対象	計量の結果 [実測濃度] (ng/m <sup>3</sup> )	酸素濃度換算値 (ng/m <sup>3</sup> ) at O <sub>2</sub> =12%	毒性当量 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> ) at O <sub>2</sub> =12%
ポリ塩化ジベンゾフラン	30	36	0.50
ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン	89	110	0.64
ダイオキシン様ポリ塩化ビフェニル	3.7	4.4	0.092
ダイオキシン類 (合計)	120	150	1.2

試料採取方法並びに計量の方法

JIS K 0311-2008 「排ガス中のダイオキシン類の測定方法」

計量実施期間

2020年11月4日 ~ 2020年12月17日

備考

- ・毒性当量は計量法第107条の対象外、毒性等価係数はWHO-TEF (2006)を使用
- ・毒性当量は、定量下限未満の値を0(ゼロ)として算出したものである
- ・各物質毎の計量結果及び定量下限値、検出下限値は付表に示す
- ・結果は各対象毎に数値処理したものである
- ・体積の単位(m<sup>3</sup>)は、標準状態(0℃、101.32kPa)を表す





